SENJU SPRINKLER™
耐外力向上ヘッド
高感度型
KQR型
2012年8月発売

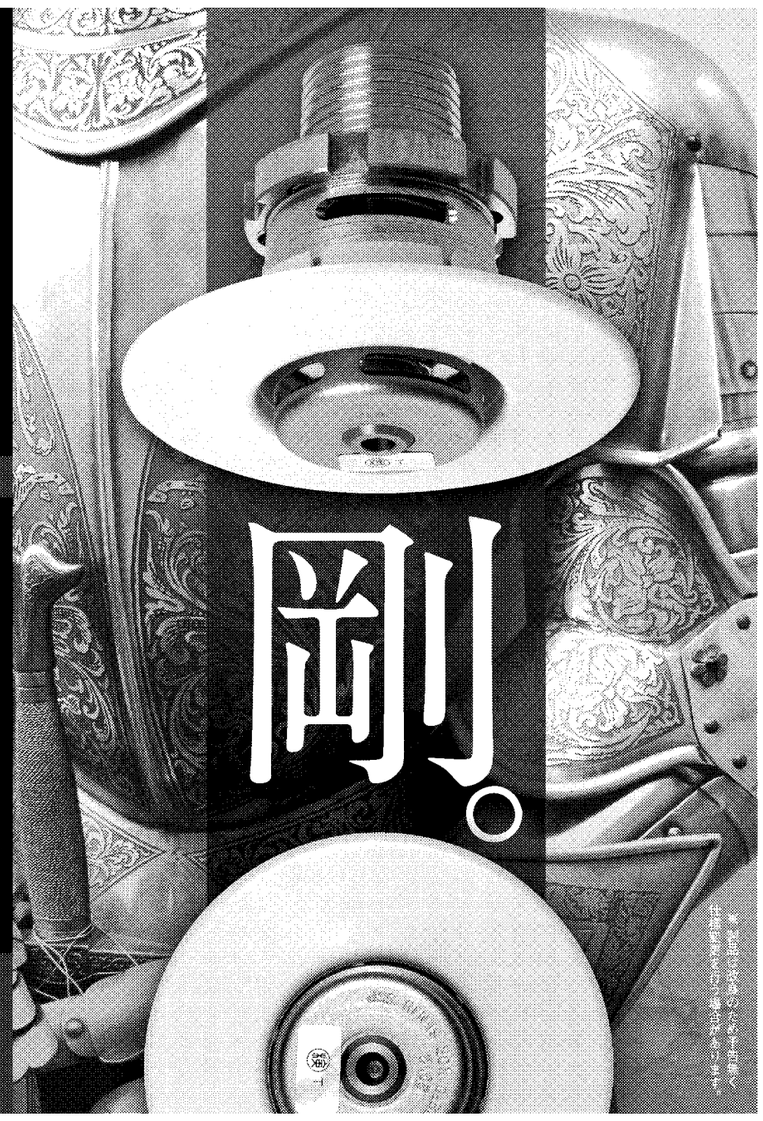
新構造による高い剛性
8個のポールで内部を支える構造により、外部からかかる力を分散。分解部への影響を最小限に抑えます。(当社比)

確実な動作性能と信頼性
耐外力性能をアップし、高い基本性能も維持。一般事務所・百貨店・スーパー・学校・病院など、あらゆる用途を設置対象としています。

美しいデザインと高感度を両立
ヒートコレクターをカバー内にレイアウトし、美しい外観と高い感度を実現。設置する際の扱いやすさも向上。

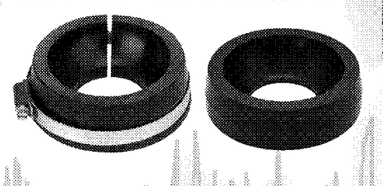
国家検定合格品
KQR 72 (標示温度72℃) 型式承認番号：ス第23～19号
KQR 98 (標示温度98℃) 型式承認番号：ス第23～20号
KQR 139 (標示温度139℃) 型式承認番号：ス第24～1号

千住スプリンクラー株式会社
〒120-0038 東京都足立区千住橋戸町23番地
TEL (03)3870-5011(代表) FAX (03)3881-3199
E-mail eigyou@senjusp.com
www.senjusp.com



SHODEN
情報化社会に安全と信頼を提供する

机・キャスター付き機器用
キャストップ
キャスターに装着して複合機・プリンタなどの移動を抑止!
複合機・プリンタなどのキャスター部に装着し、地震時の移動を抑止するストッパーです。スリット入りなので本体を動かしたりせずに装着可能です。

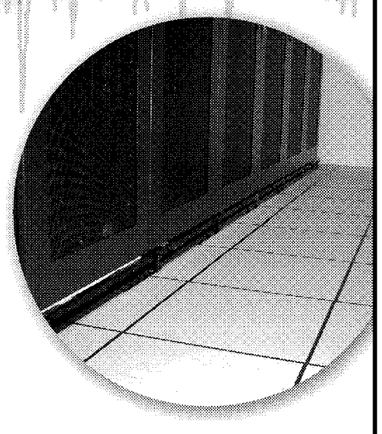


スリット入りで取付簡単

大地震の可能性が高まる今こそ、地震対策を!

ラック用免震装置
SD-5 typeⅡ
地震の揺れを減衰させてデータサーバや精密機器を守る!
地震に即応する常時待機方式で揺れを減衰させて重要な機器を守ります。免震ユニット2台を連結して、その上に置くだけなので容易に設置できます。

オプションとして
トリガーブロックを用意



株式会社 昭電　本社 〒130-8543 東京都墨田区太平4丁目3番8号 TEL.03(5819)8373　ホームページ www.sdn.co.jp
北海道 011(271)6701 東北 022(222)1401 名古屋 052(936)3311 北陸 076(431)2011 大阪 06(6345)3221 中国 082(246)5711 四国 087(821)9231 九州 092(731)0373 沖縄 098(869)0215

地域防災情報ネットワークの活用

燃えても消せる減災まちづくり

立命館大学 理工学部
都市システム工学科
教授
大窪 健之

古くからの下町に代表される木造密集地域。その美しい街並みと豊かなコミュニティーは、火災に弱いという理由で失われようとしている。伝統を守るために、燃えないのではなく〝燃えても消せる減災まちづくり〟が今、求められている。

歴史と伝統の街で

保存と調和した災害対策

美しく、歴史と伝統あるいわば下町は広く全国に残り、今や〝まちづくり〟の重要な要素となっている。これらの多くは文化性、持続性、環境親和性に優れた重要な社会的共通資産である一方、古い木造建物が狭い道路に面して密集するなど、防災面から見ると特に地震火災に対して極めて脆(ぜい)弱な状況にある。実際に1995年の阪神・淡路大震災でも、神戸市長田地区などでは伝統的なコミュニティー基盤を延焼で町並みごと失う事態となり、価値を減らすことなく後世へ引き継ぐための、保存と調和した災害対策が必要となっている。中でもコミュニティーによる初期対応は、木造密集地域における被害軽減に最も効果的であり、一刻も早く共助体制をとることのできる防災環境が求められている。

例えば、もし出火場所の情報を、消防組織と同時に地域コミュニティー内でいち早く共有することができればどうだろうか。

一度燃え広がると手に負えなくなる木造建築物の火災であっても、早い段階で周知・対応することができれば、消火用水や防災体制が十分でない場合でも消火の成功率を飛躍的に高められることになる。さらに、万一延焼火災に発展した場合でも、市民にとって刻々と変化する火災状況を共有できるため、安全な避難方向を把握することも可能となる。一方、プロの消防隊にとっても、限られた消防力を最大限効率的に配置するべく、延焼阻止線をどこに展開すべきかを判断するための極めて有用な情報を得ることが可能となる。

伝統的な街並みで地域の協力を得ながら社会実験の実績を重ねる（兵庫・篠山）

火災警報器を活用

社会実験でシステム改良

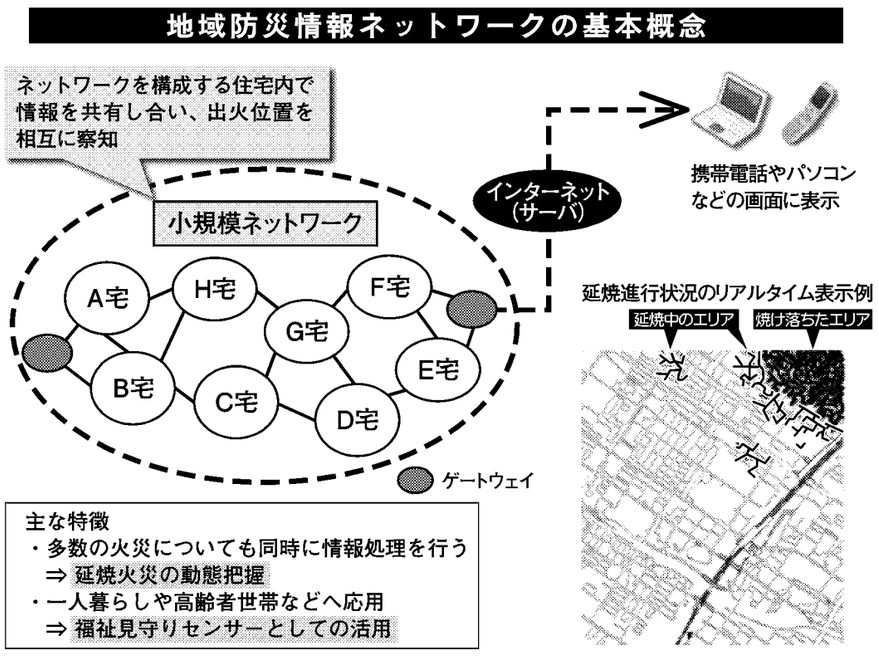
これに資するため、私たちは身近な各家庭にある設備に着目した。消防法の改正により、2011年6月までに全住宅に設置が義務付けられた「住宅用火災警報器」の活用である。既に大多数の住宅に設置されているこの設備を、個別の住宅内部へのパーソナルな警報設備としてのみならず、将来全ての家に付随する地域共有の火災センサーとして利用できる新しいインフラと位置づけることで、地域単位で火災発生情報を同時に共有できる情報ネットワークを構築しようとする考え方である。

現在、このシステム構築のために、信頼性の高い既存の技術や設備の流用・改良に関する技術検討を行うとともに、社会実験によりユーザーから指摘された課題を改善しながら開発を進めており特許も出願中である。

具体的には、一般に市販されている無線連動型の住宅用火災警報器と、子供や高齢者のケアのためにセキュリティー分野で既に実用運用されている、いわば見守りシステムとを組み合わせて、地域単位の火災発生情報をいち早く自動収集するシステムとなっている。単独の火災だけでなく、大震災後の同時多発火災や延焼発生時にも時々刻々と火災発生を追跡できることが重要と考え、停電や断線のリスクを回避できるよう、住宅用火災警報器には10年の耐用年数を誇る内蔵電池式の無線連動タイプを、そこで感知した発災情報を伝えるシステムには太陽電池駆動のアドホック型（回線が断絶しても断絶箇所を回避して自己修復するタイプ）無線ネットワークのものを採用している。

収集した発災情報は、消防組織だけでなくユーザーとなる地域住民、さらには地域情報に疎い観光客に対しても即時的に配信される必要がある。このため同システムでは、東日本大震災の被災地でもツイッターや電子掲示板などによって貴重な情報を配信し続けたインターネットと、携帯電話メールを活用する。災害安全性の高いクラウドコンピューティング上に置かれたプログラム処理によって、火災が発生した家屋の場所を明示した地図画像を、地域のメール登録者全員に一斉配信すると同時に、地域に既存の緊急サイレンや防災放送などを自動起動できる仕組みとしている。火災情報の地域共有という新たな目的のために、既存の確立された技術と情報インフラを積極的に流用することで、災害安全性とシステムの安定性を目指している点が大きな特徴となる。

このシステムは現在、密集した商家町と城下町を持つ兵庫県・篠山と、燃えやすい茅葺(かやぶ)き民家が立ち並ぶ京都府・美山北の、二つの国指定の重要伝統的建造物群保存地区の協力を得て、社会実験を積み重ねている。災害は待ったなしで訪れる。既存の設備を生かした、安価でかつ地域単位で導入可能な災害情報共有システムの開発は、防災スマートコミュニティー形成の一助として、喫緊の課題となっている。



火災警報器があることで、
救える命があります。

1.すべての警報器が連動して、火災をお知らせ
2.最大16台まで連動可能
3.アンテナ内蔵で、外観スッキリ
音声警報式、電池寿命10年
無線式連動型住宅用火災警報器
まもるくん®
まもるくん®は能美防災株式会社の登録商標です。
防災のパイオニア NOHMI 能美防災株式会社
本社：〒102-8277 千代田区九段南4-7-3　http://www.nohmi.co.jp/jukeiki/
まもるくんに関するお問い合わせは フリーダイヤル 0120-155-772(受付時間:月～金 9:00～17:00 祝日は除く)

daiwabo
守りたいものがあります。

私たちの生活や生命を一瞬の内に奪う、自然災害や火災。思いがけない事態はいつ起るかわかりません。そんなまさかの時に備え、毎日の暮らしに安心を届けたい。
ダイワボウの難燃素材は、すべてノンハロゲン。非常時にも燃えにくく、処分時の有害物質の発生も抑えます。綿100%吸汗性生地や、フィルター用繊維、シート用素材も用意して、家族や地球環境への、大切な想いを支えます。

暮らしを守り、環境にもやさしい
ダイワボウのノンハロゲン
難燃素材シリーズ

着心地が良い綿100%ノンハロゲン難燃加工
DAIWABO PROBAN®
[ダイワボウプロバン]
●ユニフォーム、カーテン、シーツ用途に

ポリオレフィン樹脂に難燃剤を練込んだシート材
難燃ポリプロシート
[難燃ポリプロシート]
●輸送機用シート、店舗用シート用途に

ノンハロゲン難燃ポリオレフィン繊維
miracle® fiber FGシリーズ
[ミラクル®ファイバー(FGシリーズ)]
ポリプロ繊維と複合繊維が選べる。
●空調フィルター用途に

●プロバン、ポリプロシート
ダイワボウプログレス株式会社
TEL.06-6281-2413
●ミラクル®ファイバー
ダイワボウポリテック株式会社
TEL.06-6281-2414
http://www.daiwabo.co.jp/